

科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
A	B
<p>【基礎・基本となる知識の定着】 知識の定着を図るために、ワークシートの活用や確認テスト等を行う。</p>	<p>【話し合い活動を通じた論理的思考の向上】 身に付けた知識を活用できるようにするために、話し合い活動を行い、生徒同士で知識を補ったり、論理的に考えたりする力を養う。</p>

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の結果より、知識の習得が不十分な生徒と、知識はある程度習得しているものの思考・判断・表現が苦手な生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の基礎・基本となる知識の定着のために、社会の用語について授業で説明をする。 4人班での話し合い活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに1時間以上話し合い活動を入れる 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 東京都学力調査の正答率と比較して、全体では-5.6であった。「教科の内容」の知識・理解が-4.6であったのに対して、「読み解く力に関する内容」は-6.7であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の基礎・基本となる知識の定着を図るため、毎時間ごとに確認テストを実施する。 資料や図表などを読み解く時間を増やす。 授業ノートの確認・点検を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業時 2～3学期 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査や復習確認テストの結果から、論理的に考えたり、問題や課題を解決したりする力に乏しい。 公民分野を学習していく中、現在起こっている時事的な事象を取り上げて、興味関心を引き出す工夫が必要になる 	<ul style="list-style-type: none"> グラフ、資料、写真や動画などから、読み取る力を身に付け、そこから論理的に自分の考えた事を表現できるように授業を行う。例えば公民分野では、ディベートやグループディスカッション等を行って、論理的思考の向上や発表する力(表現力)を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の読み取りは毎時間 ディベートやグループディスカッションは、週1回を目標に 	

- 主体的・対話的で深い学びに関連して
- 1年 4人班による話し合い活動を行う。
 - 2年 世の中での出来事に興味関心をもち、友達と学び合う。
 - 3年 グループでの話し合い活動を通して考えを深める。

- 小中一貫教育共通プログラムに関連して
- 1年 授業の狙いを黒板・ワークシートに明示する。
 - 2年 基礎・基本を身に付けさせるための復習テストを充実させる。
 - 3年 授業の終末に、ねらいに関する確認問題に答えさせる。

